

岩手県連顧問より 北上建設組合 私のこだわり特別版

百年を振り返って

顧問 菊池 武實(北上)



100年の歴史を確認した後、参加者全員で（最前列右から2番目が菊池武實さん）

大正5年、江釣子神社境内で「江釣子大工同盟会」が設立し、その記念に大正8年「聖徳太子」石碑が建立されました。当時45人が賃金自分賄い1円10銭、支払80銭でスタートして、100年の月日が流れました。そして平成27年1月16日午前11時、江釣子神社にて100回目の「太子講」総会を開催。北上建設組合の組合長高館組博人さん（現在、県連中央ブロック副会長）、副組合長千葉節夫さん（現在、北上組合長）を招待。江釣子支部長高橋静夫他10人・主婦の会7人の合計19名が参加し拝礼しました。

正午より、場所を江釣子駅前「中川亭」に移し、第64回北上建設組合総会に向けての協議をしました。その後、「太子講」から現在に至った100年の沿革を確認しました。沿革については表の通りです。

100年の歴史を振り返って思う事は、全国自治体の企業誘致施策で職人離職現象が起き、「ものづくり職人」減少に拍車がかかり、現在の災害復興の遅れ・絶対数建設現場での働き手不足を招いている。幸い何もない時代を生き抜いた先輩諸氏の指導なり支えで今日まで生きられた。「記憶を父とし、記録は母であり、教訓に宿る子は知恵なり」。甚大なる感謝。

顧問 菊池武實

【岩手県連

謝辞

甚大なる感

恵なり」。

宿る子は知

り、教訓に

録は母であ

父とし、記

「記憶を

た。

で生きられ

えで今日ま

指導なり支

先輩諸氏の

生き抜いた

ない時代を

招いている。

幸い何も

き手不足を

現場での働

絶対数建設

復興の遅れ・

現在の災害

象が起き、「ものづくり職

人」減少に拍車がかかり、

て思う事は、全国自治体の

企業誘致施策で職人離職現

象が起き、「ものづくり職

人」減少に拍車がかかり、

て思う事は、全国自治体の

企業誘致施策で職人離職現

象が起き、「ものづくり職

人」減少に拍車がかかり、

て思う事は、全国自治体の

企業誘致施策で職人離職現

象が起き、「ものづくり職

人」減少に拍車がかかり、

て思う事は、全国自治体の

太子講100年の沿革

- 戦争突入。戦局に備えて「江釣子大工組合」に改名。宣言決議。飛行場に大工を挺身隊派遣。
- 統制機構改革による協定賃金1日4円20銭に定める。
- 昭和20年8月終戦。組合員弔意を表す。
- 昭和22年1月24日、第30回総会で統制組合解散。組合員51名賃金自賄は70円、向賄は50円とする。
- 昭和39年組合証明手帳発行、組織強化を図る。
- 昭和41年1月7日、創立50周年記念にあたり、22名に感謝状贈呈。組合員130名、協定賃金1200円と定める。
- 昭和49年第58回総会にて県連加入決議。事務を商工会に委託。
- 昭和51年第60回定期総会にて、県連加盟に沿った「太子講」兼ね単組独自の運動方針を掲げる。役員・執行委員を2年とし再任制を認める。
- 昭和61年創立70周年を120名で挙行。協定賃金1万2千円とする。
- 昭和62年村教育文化賞受賞。中建国保本部より出張所表彰される。
- 平成3年総会にて「江釣子建築職組合」と改名。主婦部設立。
- 平成6年「小さな親切運動」功労賞受賞。
- 平成8年創立80周年挙行。
- 平成12年「小さな親切運動」実行賞受賞。
- 平成15年1月10日商工会事務委託解く。菊池武實宅に事務所開設。
- 平成16年11月「日本善行会」秋季善行表彰。
- 平成17年1月16日第89回総会にて、北上建設労働組合と対等合併決議。
- 3月27日、江釣子建設職組合解散総会。
- 4月18日、北上建設組合結成。
- （江釣子100人・北上385人）※名称から労働を削除。参考（自賄⇨手弁当、向賄⇨施主さんからご馳走になること）